

News Letter

平成 27 年 9 月 17 日発行 vol.2

障がい者の笑顔と
障がい福祉に関わる仲間たち

国東市 中野マーク周作さん

■国東市国見町伊美の工房ラパロマで陶芸家として活躍する中野マーク周作さんは 24 歳。ご両親がシドニー滞在中に生まれ、生後すぐに帰国して9歳まで神奈川県で過ごし、伊美に転居して国東市の小・中学校と宇佐養護学校(現在の宇佐支援学校)高等部を卒業しました。

■粘土で遊び始めたのは 20 年以上前で、同じ頃、発達障がいと診断されました。土を触っていると多動が現れにくくなることや、空間認知力が優れていると言われたことから、ご両親が陶芸に集中できる環境を整えてきました。

■父親でイラストレーター・陶芸家の伸哉さんは「自閉症の特徴といわれる“こだわり”は作家に欠かせない才能の一つ。注文を受けて同じ作品を何十個と作り続けることも得意。息子に限らず、アーティストとして才能を伸ばせる障がい者は多いのではないかと語ります。

■周作さんの作品は工房に常設展示していますが、9月23日(水)までは“うすきまちなかアート”(臼杵市の八丁大路商店街等)でも展示中。10月10日(土)～15日(木)の6日間は“国見町工房ギャラリーめぐり”も開催される予定です。



合同会社ブラボーワークス 代表 堀米京子さん

■大分インターから車で5分ほど登った丘に昨年オープンした美スイーツ工房“Bravo Foods Factory”は、精神障がい者や身体障がい者などが働く就労継続支援 A 型事業所です。

■代表の堀米京子さんは、農業生産法人“ぶらぼうファーム”と石窯キッチン&カフェ“ぶらぼう”も経営しています。卵・乳製品・白砂糖を使わない

穏やかな甘さのおやつを生産・販売し続けるため、あえて A 型事業所という形式を選びました。

■自閉症の兄と共に、入所施設などの障害福祉サービス事業所を運営する両親の元で育った堀米さんは、障がい者に対して必要以上に手を出さず、皆と同じように接することのできる場所をイメージしてきました。

■こだわりのクッキーやタルトに加えて、宗麟かぼちゃを使った新商品の開発が進み、7人の障がい者を含むスタッフや、県の補助制度(裏面参照)を活用して設置した機器もフル稼働の状況になりそうです。

発行元: 大分県障害福祉課 〒870-8501 大分市大手町3-1-1 a12500@pref.oita.lg.jp FAX: 097-506-1740

TEL: 計画・スポーツ班 097-506-2723 地域生活支援班 097-506-2725 自立支援班 097-506-2731

障害児支援班 097-506-2745 精神保健福祉班 097-506-2733 障がい者体育協会 097-533-6006

大分県障害福祉課からのお知らせ

障がい者の笑顔と障がい福祉に関わる仲間を紹介する News Letter を発刊しました。

県内で生き生きと暮らす障がい当事者や、活躍している支援者・サービス事業所を、障がい種別や居住市町村を越えて紹介し、各種情報を周知することにより、障がい福祉の見える化を図ることを目的としています。当分の間、毎月作成して、県障害福祉課で登録している各事業所のメールアドレス宛てに送信し、県庁ホームページにも掲載します。

■News Letter の名称・紹介する障がい者・支援者や事業所を募集します■

- ①この News Letter の名称(締切は 9 月 25 日)、②今後紹介する障がい者(随時受付)、③今後紹介する支援者又は事業所(随時受付)を募集します。メール、FAX、はがき等で大分県障害福祉課へお寄せください。News Letter へのご意見もお待ちしております。

■ 9 月 1 日(火)に大分県障害者施策推進協議会を開催しました —計画・スポーツ班—

会議では、「大分県障がい福祉計画(第3期)」の目標に対する昨年度までの実績と各項目の達成・未達成の原因分析及び今後の方向性、今年度の主な取組などについて障害福祉課から説明しました。委員からは①精神障がい者の夜間・休日の救急体制の充実や、②障がい者雇用率日本一を目指していく上での問題点、③障がい児のライフステージを通じたタテの連携の重要性などの意見が出て、建設的な議論がなされました。この協議会での議論を参考に、今後の障がい者施策を進めていきます。

■障がい者・児秋の交歓会ふれあい広場が 10 月に開催されます —地域生活支援班—

10 月 10 日(土)、開会式での餅まきの後、ステージでは2日間にわたって、障がい者による演奏やダンスなどのパフォーマンスが繰り広げられます。会場テントでは”味のコーナー”を設け、農産物、工芸品の販売や苗木の無料配布もあります。11日(日)も、トリニータ選手のサイン会など楽しい催しが一杯です。

※10 月 10 日(土)・11 日(日) 10:00~16:00 大分市平和市民公園多目的広場 入場無料

■ A 型事業所の設立や定員増に必要な設備整備に要する経費を補助しています —自立支援班—

県障害福祉課では、就労継続支援 A 型事業所の設立又は定員を増員する際に必要な設備の整備に要する経費の一部を補助することにより、A 型事業所の設立促進や事業拡大を推進し、障がい者の就労機会の拡大を図っています。対象経費が 5,000 千円以上のとき補助額は 2,500 千円(1/2 補助)です。就労継続支援 A 型事業所の設立又は定員の増員を検討中の方は、ぜひ本事業をご活用ください。

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/12500/setubiseibi.html>

■全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」県選手団決定 —大分県障がい者体育協会—

10 月 24 日(土)から 26 日(月)までの3日間、和歌山県で開催される第 15 回全国障害者スポーツ大会に出場する選手が決まりました。大分県選手団として、陸上 11 名、水泳 4 名、アーチェリー 1 名、卓球 3 名、フライングディスク 5 名、ボウリング 2 名、計 26 名の選手を派遣します。応援をよろしくお願いします。

発行元:大分県障害福祉課 〒870-8501 大分市大手町3-1-1 a12500@pref.oita.lg.jp FAX:097-506-1740

TEL:計画・スポーツ班 097-506-2723 地域生活支援班 097-506-2725 自立支援班 097-506-2731

障害児支援班 097-506-2745 精神保健福祉班 097-506-2733 障がい者体育協会 097-533-6006